

*SDGs*を「知る」から「実践」へ
～*SDGs*を自分ごと・自社ごととして捉える～

2024年5月10日(金)

日本工業大学専門職大学院技術経営研究科 教授

中村 明 博士(学術)

アウトライン

◆ SDGsの基礎

◆ SDGs経営を実践している企業の事例

◆ SDGsの自分ごと・自社ごと化への取り組み方・具体策

最初に一つ大切なこと

SDGsにどのように (How) 取り組めば良いか？

ではなく、

SDGsに**なぜ** (Why) 取り組むのか？

から入る

SDGsは目標、では目的は何か？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

17ゴール
169ターゲット
232指標
(現在は231指標)

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

SDGsの17の目標（ゴール）

「SDGsは多岐にわたり範囲も広いが持続可能な社会の実現に向けて不要なものはない」

目標1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

目標2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

目標4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

目標5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う

目標6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

目標7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

目標8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある

人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

目標9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーション

の推進を図る

目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する

目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

目標12. 持続可能な生産消費形態を確保する

目標13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

目標14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

目標15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、

ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

目標16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを

提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

SDGsの背景にある目的とは？

我々の世界を変革する：
持続可能な開発のための2030アジェンダ（合意文書）

Transforming our world:
the 2030 Agenda for Sustainable Development

アジェンダは2015年9月の国連で全会一致で採択、この合意文書の中にSDGsが記載された多様なステークホルダーによるオープンワーキンググループでの議論を経てまとめられた



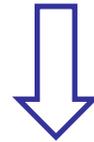
2030アジェンダ（合意文書）の目指すもの

- ◆ 持続可能な開発は、**将来の世代がそのニーズを充足する能力を損なわずに、現世代のニーズを充足する開発と定義**
- ◆ 持続可能な開発を達成するためには、**経済成長、社会的包摂、環境保護**という3つの主要素を調和させることが不可欠
- ◆ **誰一人取り残さない**(No one will be left behind.)



誰一人取り残さない

No one will be left behind.



自分自身も含まれる

持続可能な開発 (Sustainable Development) とは？

「環境と開発に関する世界委員会 (ブルントラント委員会) 報告
「我ら共有の未来 (Our Common Future)」 (1987年)

持続可能な開発

“将来の世代がそのニーズを充足する能力を損なわずに、
現世代のニーズを充足する “



世代間公平 (Intergenerational Equity)
(その前提としての世代内公平 (Intragenerational Equity))



人類の繁栄と地球環境の持続の両立

(経緯)

- ◆ 1972年 「国連人間環境会議」 (ストックホルム会議)
- ◆ 1992年 「国連環境開発会議」 (地球サミット)
- ◆ 1997年 「国連環境開発特別総会」
- ◆ 2002年 「持続可能な開発に関する世界首脳会議」 (ヨハネスブルグ・サミット)
- ◆ 2012年 「国連持続可能な開発会議」 (リオ+20)
- ◆ 2015年 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」 採択

持続可能性のためのトリプルボトムライン(経済・社会・環境)とは？

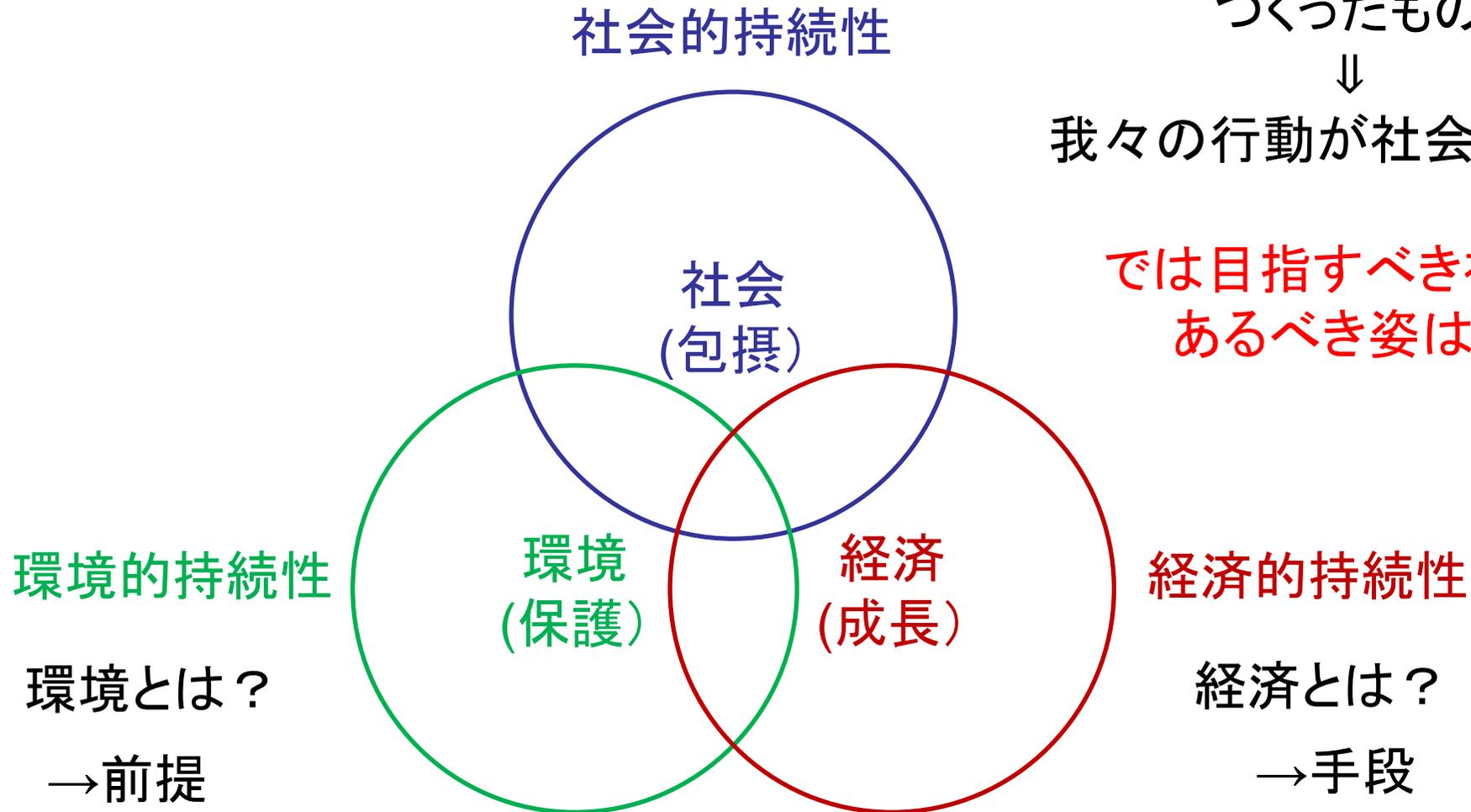
社会とは？

→社会は我々人間が
つくったもの



我々の行動が社会をつくる

では目指すべき社会・
あるべき姿は？



経済的持続性

経済とは？

→手段

環境的持続性

環境とは？

→前提

2030アジェンダの前文に記載される5つのPの理念

人間 Goal 1~6

P EOPLE
人間
あらゆる形態の貧困と飢餓に
終止符を打ち、
尊厳と平等を確保する

豊かさ Goal 7~11

P ROSPERSITY
豊かさ
自然と調和した、
豊かで充実した生活を
確保する

地球

Goal 12~15

P LANET
地球
将来の世代のために、
地球の天然資源と
気候を守る

**Sustainable
Development**
持続可能な開発

平和

Goal 16

P EACE
平和
平和で公正、かつ包摂的な
社会を育てる

パートナーシップ

Goal 17

P ARTNERSHIP
パートナーシップ
確かなグローバル・
パートナーシップを通じ、
アジェンダを実施する

企業経営に影響を与える国際社会のトレンドの変化

<株主資本主義>

↓

↓

<ステークホルダー資本主義>

ダボス・マニフェスト2020

ステークホルダー全般への貢献重視

株主

顧客

従業員とその家族

取引先

地域社会

社会全体

政治・行政

地球環境

将来世代

(学生、子ども、次世代)

<企業の社会的責任>

CSR (Corporate Social
Responsibility)

↓

↓

<共通価値の創造>

CSV (Creating shared Value)

経済的価値／社会的価値

↓

↓

<持続可能な開発目標>

SDGs (Sustainable Development
Goals)

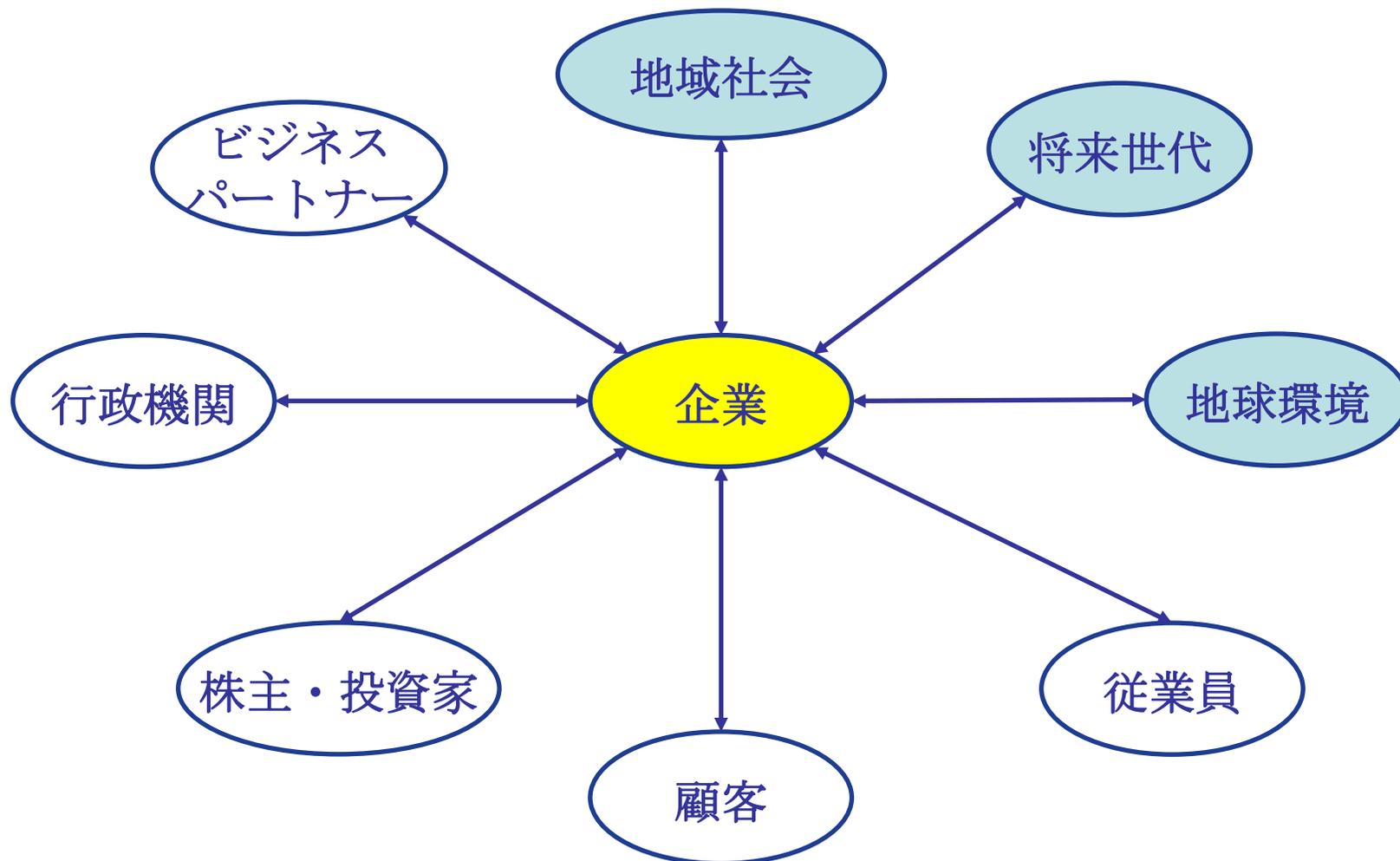
経済／社会／環境

誰一人取り残さない

世代間公平／世代内公平

企業におけるステークホルダーとは

ステークホルダーとは、企業や特定の組織の行動・活動によって直接的、間接的な利害が発生する関係者。地球環境、社会、そして将来世代などをステークホルダーと考える企業が増えている。



ステークホルダー・非財務的側面の重要性が増大



Corporate Social
Responsibility

CSR

企業の社会的責任
(企業が社会的
責任を果たすための
活動)

Creating
Shared Value

CSV

共通価値の創造
(社会価値と
経済価値の両立)

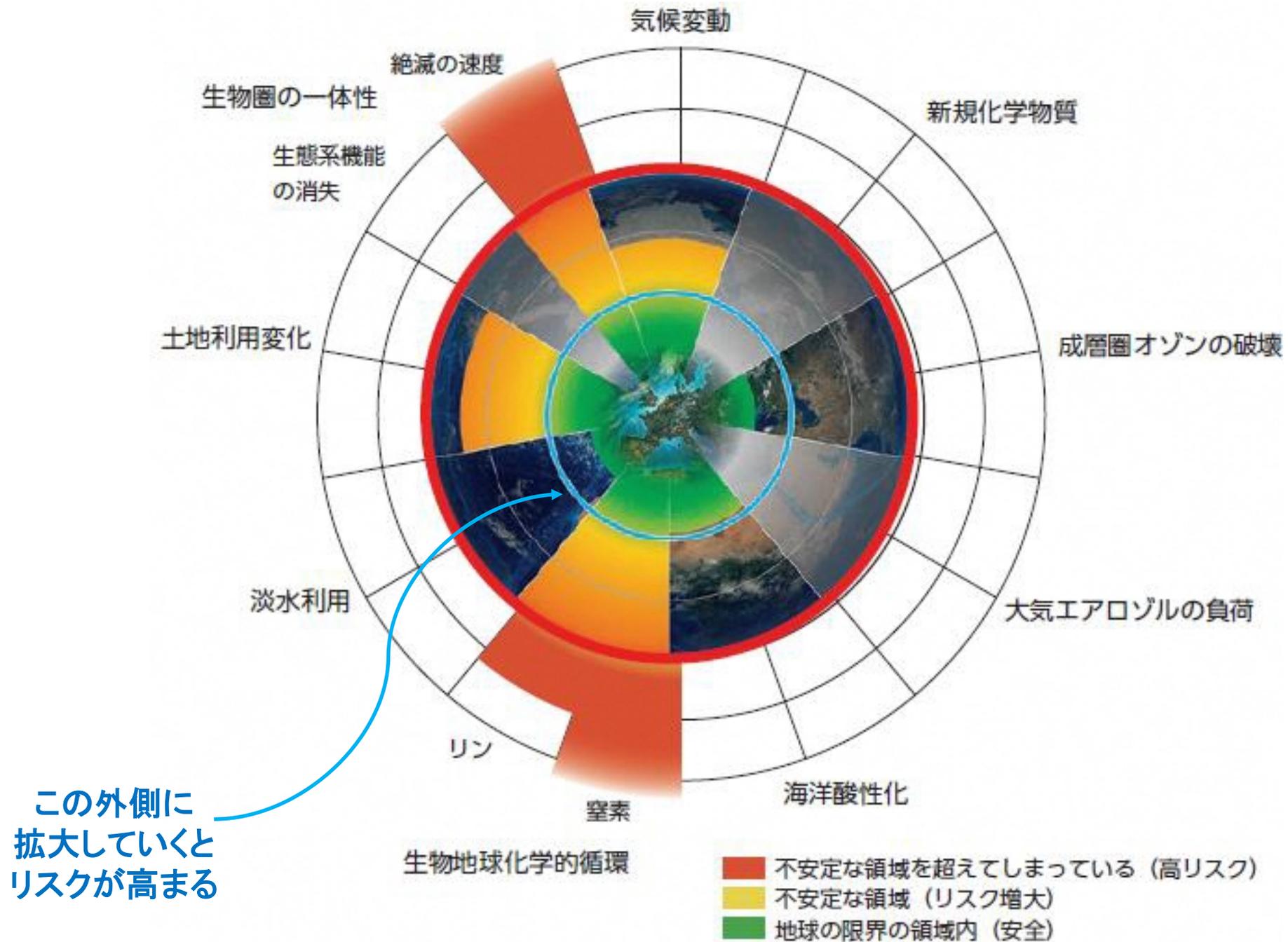
Sustainable
Development Goals

SDGs

持続可能な開発目標
(人類と地球の持続、
世代内・世代間
公平)

PRI/ESG投資
インパクト投資
インパクト評価

地球の限界（プラネタリー・バウンダリー）による地球の状況



資料：Will Steffen et al. 「Guiding human development on a changing planet」

出典：「平成30年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」に一部加筆

アウトライン

◆ SDGsの基礎

◆ SDGs経営を実践している企業の事例

◆ SDGsの自分ごと・自社ごと化への取り組み方・具体策

環境省「持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド」

<https://www.env.go.jp/policy/sdgs/>

「持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド」

- ◆ 持続可能な開発目標（SDGs）に係る取組の進展に寄与することなどを目的として、すべての企業が持続的に発展するためのSDGsの活用ガイドを作成。
- ◆ 変化するビジネス環境の中で企業が置かれている状況と、企業にとってSDGsに取り組む意義について説明した上で、具体的な取組の進め方を提示。
- ◆ 既にSDGsに先駆的に取り組んでいる企業の事例などを紹介。
- ◆ 本ガイドを活用してSDGsに取り組むことにより、経営リスクを回避するとともに、新たなビジネスチャンスを獲得し、持続可能な企業へと発展していくことを期待。

持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド [第2版]（概要版）

持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド [第2版]（本編）

持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド [第2版]（資料編）

企業・個人両面からのSDGsの取り組みを実践する企業の事例

全従業員でSDGsに取り組む「来ハトメ工業株式会社」 埼玉県八潮市

環境省環境コミュニケーション大賞を含め、
複数の受賞歴あり

全員で様々なことに挑戦
出発点としての「私のSDGs」という取り組み
環境活動の成果をSDGsで点数化

...

<https://www.rai-hatome.co.jp/>

(環境省「持続可能な開発目標 (SDGs) 活用ガイド」)

<https://www.env.go.jp/content/900498955.pdf>

事例からの学び・気づきとして

全員参加

企業と従業員一人一人

SDGsを学ぶことから活用へ（実践までの道筋）

経営とのつながり・定着

点数化しての成果の定量的把握（SDGsへの貢献度の明確化）

レビューとチャレンジ（恒常的前進）

教育・啓発と地域とのつながり（モデルの波及効果）

参加者のエンゲージメント向上

企業価値の向上と社会課題解決の両立

- ・
- ・
- ・

持続可能な漁業を目指し様々な取り組みを実践する事業者の事例

漁業の様々な課題に向き合う「邦美丸（個人事業）」 岡山県玉野市

第7回ジャパンSDGsアワード「特別賞」

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/award7_04_kunimimaru.pdf

を含め、複数の受賞歴あり

水産資源の乱獲や価格不安定という問題への対応
食品ロス、長時間労働、後継者不足などの課題解決
国内外のモデルとしての意義
教育的効果

...

<http://www.kunimimaru.com/>

事例からの学び・気づきとして

個人事業での取り組み方の好事例
社会課題解決を経営改善につなげている
なぜ、取り組んでいるのかが明確

取り組みの成果の定量化

成果の発信（SNSなどを利用）

モデル性（国内外で高い注目度、波及効果）

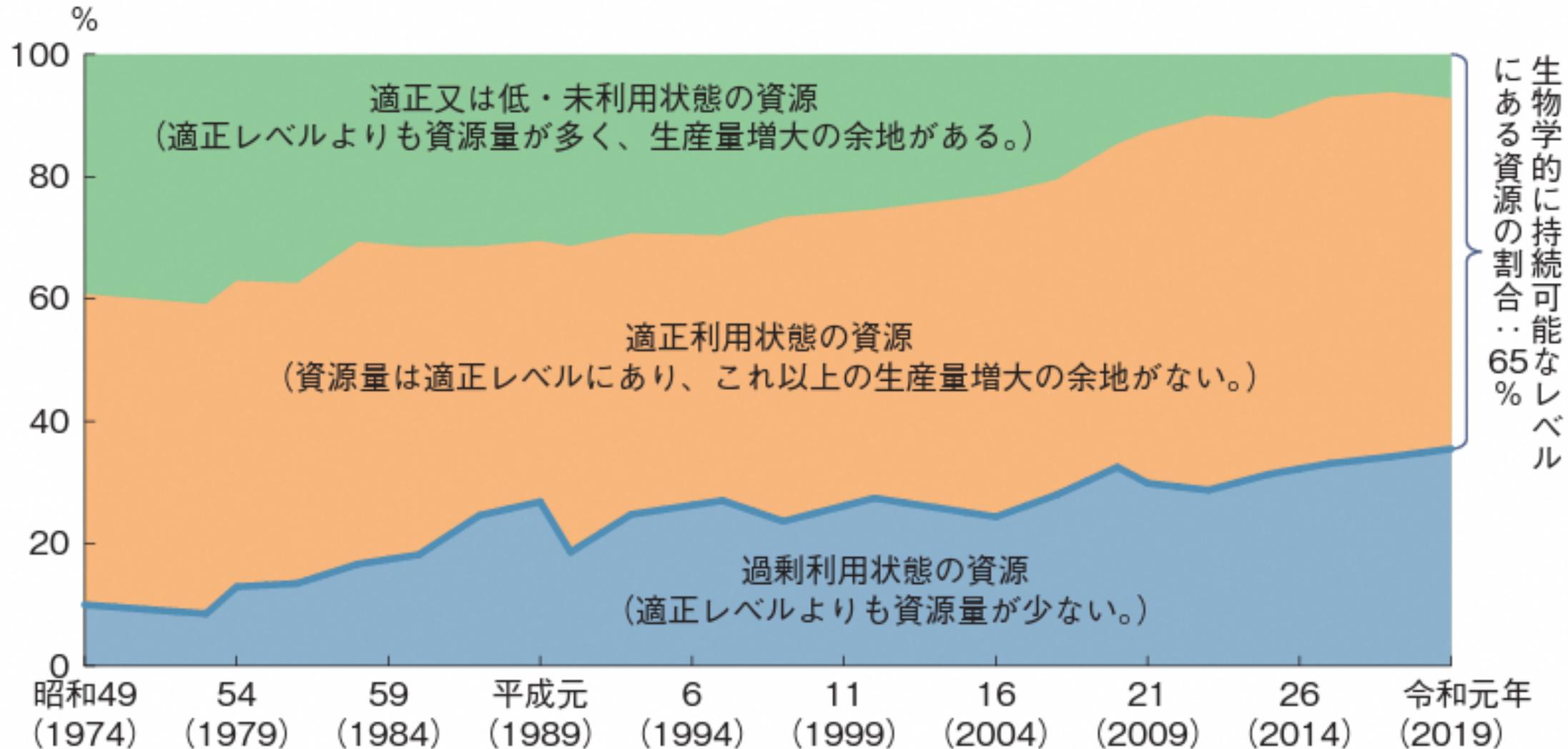
ブランド品（美しい海苔）も商品化している

地域との交流（海苔の教育活動）

-
-
-

世界の資源状況

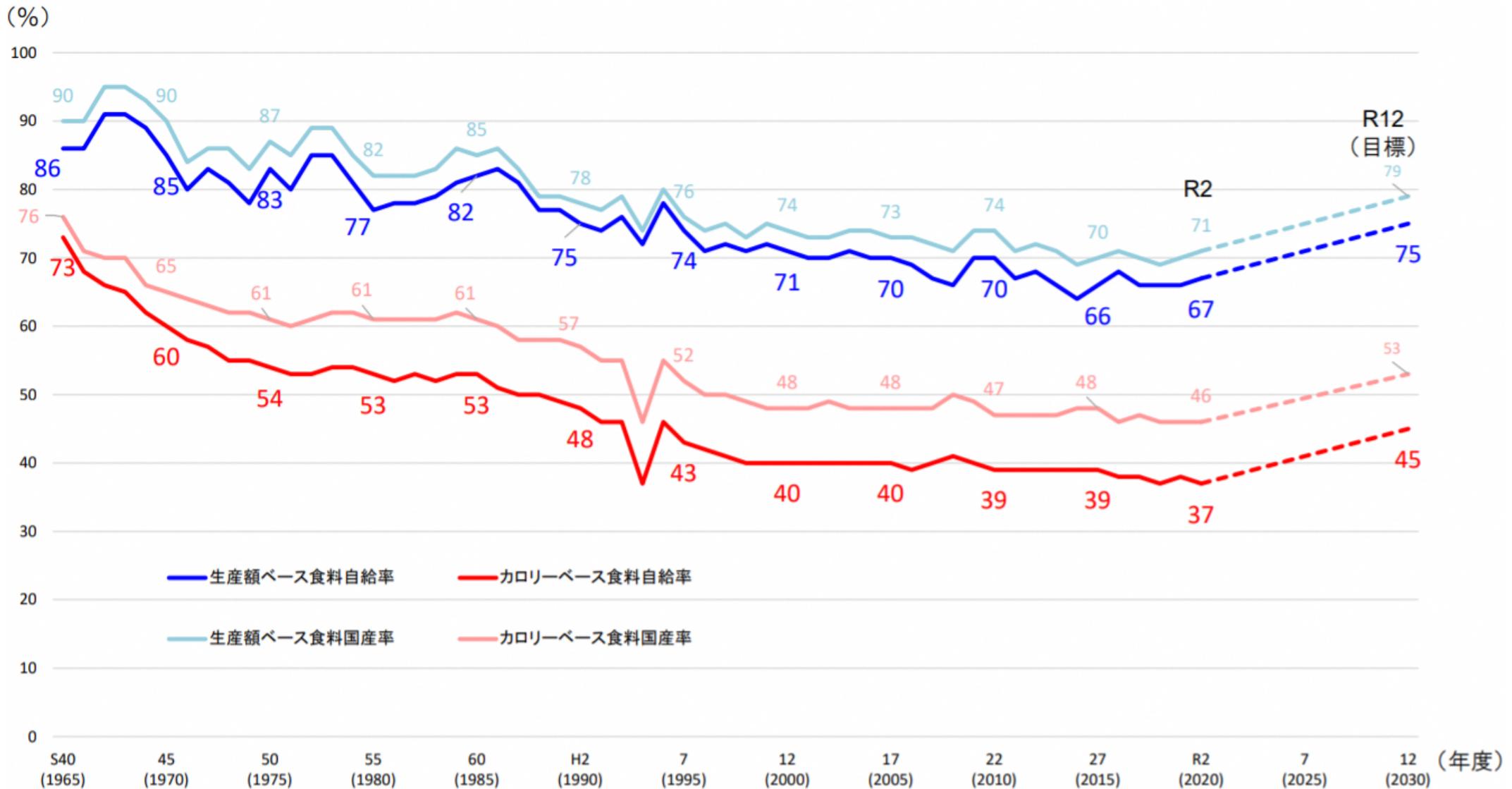
世界の食用魚介類消費量は増加しており、水産資源における過剰利用状態にある資源は年々増加しており、2019年時点で35%。日本は世界でも一人当りの食用魚介類消費量が最も多い国の一つ。



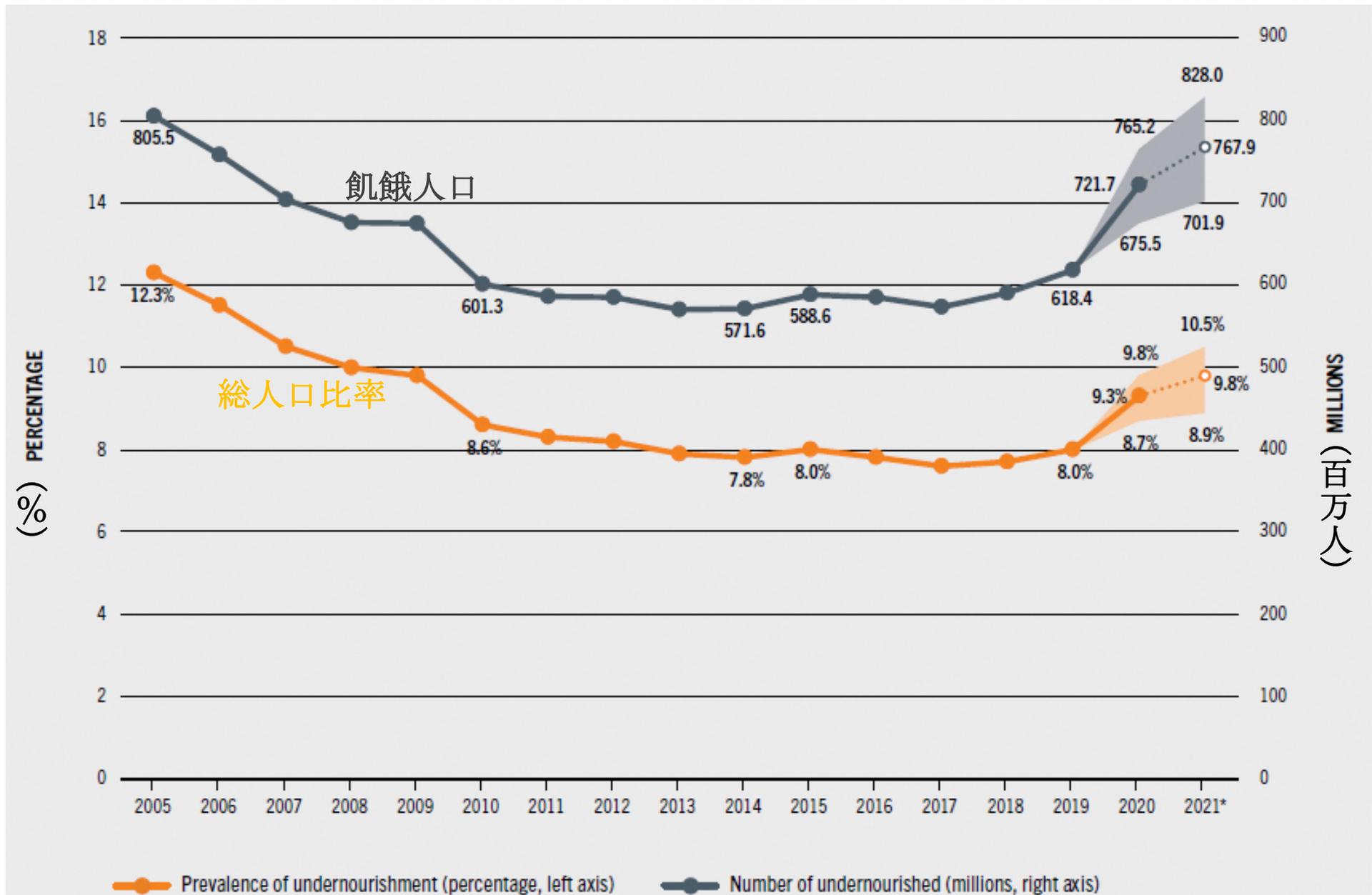
資料：FAO「The State of World Fisheries and Aquaculture 2022」に基づき水産庁で作成

日本の食料自給率の推移

日本の2020年の食料自給率は、カロリーベースで37%、生産額ベースで67%と海外依存度が高い



世界の飢餓人口と総人口比率の推移 (SDGsのゴール2は悪化傾向)



2021年には世界人口の7億200万人(8.9%)～8億2,800万人(10.5%)が飢餓に直面

NOTES: * Projected values for 2021 are illustrated by dotted lines. Shaded areas show lower and upper bounds of the estimated range.
SOURCE: FAO.

日本の食品ロスの状況（令和3年度）

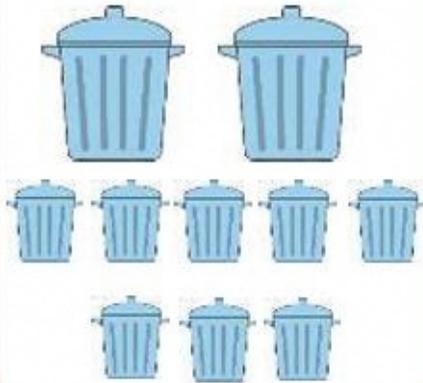
日本の「食品ロス量」

約523万トン



事業系

約279万トン



家庭系

約244万トン



国民1人当たり食品ロス量

1日 約114g

※ 茶碗約1杯のご飯の量に近い量

年間 約42kg

※ 年間1人当たりの米の消費量（約51kg）に近い量



資料：総務省人口推計(2021年10月1日)
令和2年度食料需給表（確定値）

自社ごと化・自分ごと化を実践する「株式会社大川印刷」 横浜市

第2回ジャパンSDGsアワード「SDGsパートナーシップ特別賞」

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/award2_9_ookawainsatsu.pdf

を含め、多くの受賞歴あり

再生可能エネルギー100%など、多数の取り組み

社長と社員全員参加の取り組み

成果指標の可視化

地域社会とのつながり

...

<https://www.ohkawa-inc.co.jp/>

事例からの学び・気づきとして

もともと会社の理念が自然にSDGsにつながっている

従業員によるワークショップ

全員参加による取り組み

レビューとさらなる改善

第三者意見を聞く

目標設定と成果の定量的評価と見える化

積極的な対外発信（教育・啓発効果）

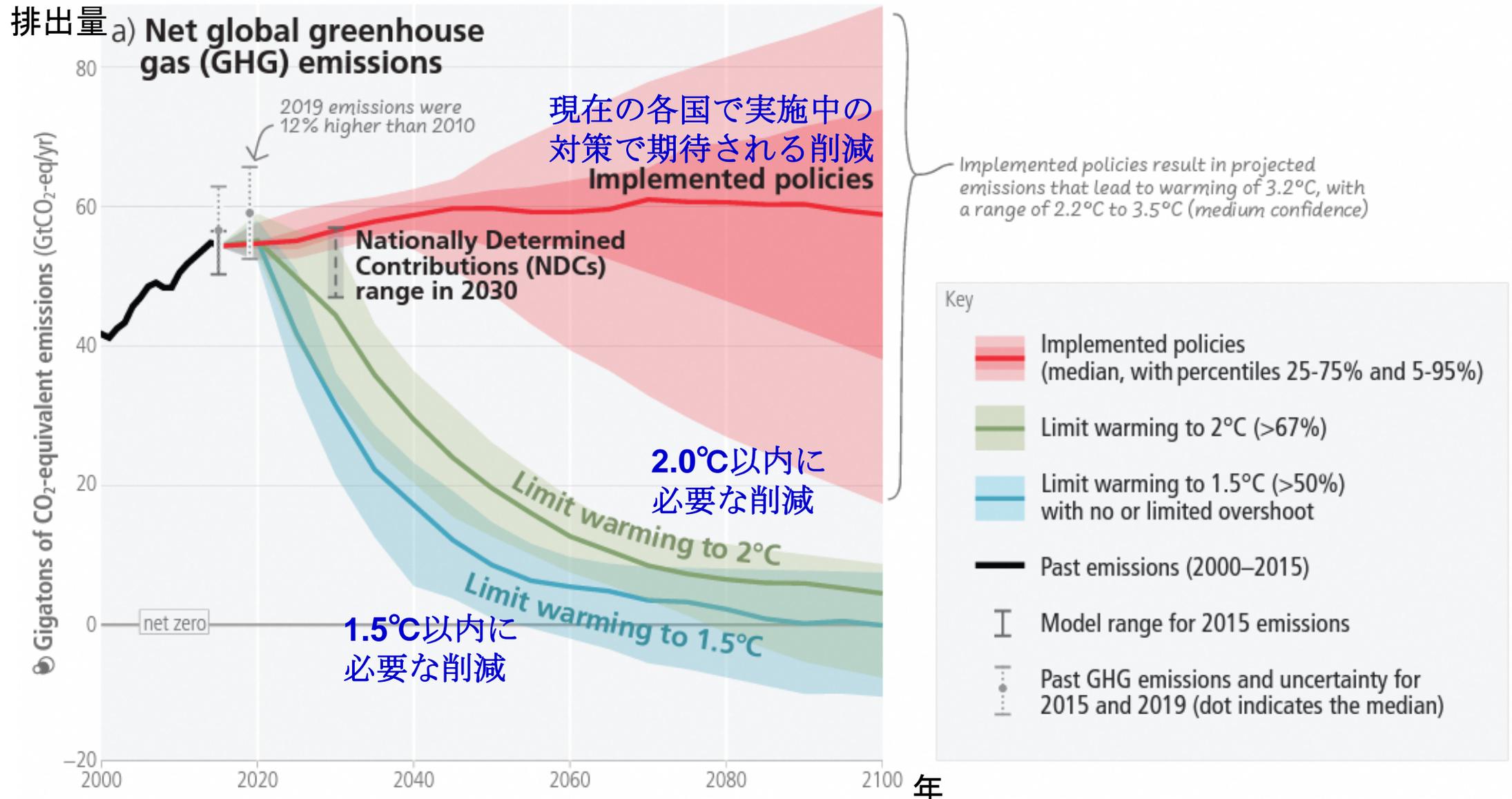
地域との交流・つながり

-
-
-

1.5~2°Cに制限するには即時の温室効果ガス排出削減が必要

Limiting warming to 1.5°C and 2°C involves rapid, deep and in most cases immediate greenhouse gas emission reductions

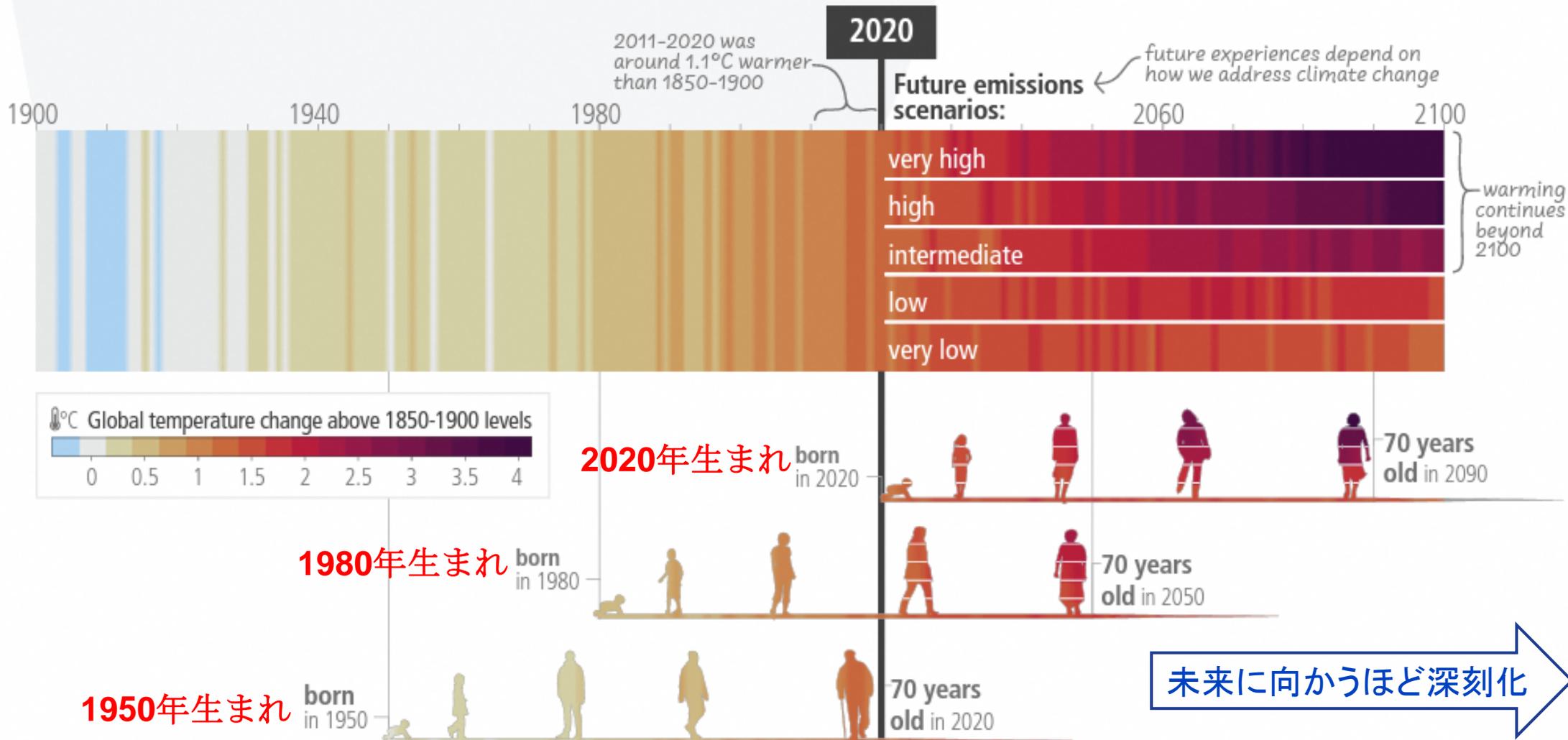
Net zero CO₂ and net zero GHG emissions can be achieved through strong reductions across all sectors



気候変動が各世代に与える影響の変化の推移と予測

新たに生まれた世代（将来世代）ほど、気候変動による気温上昇の影響を受ける

c) The extent to which current and future generations will experience a hotter and different world depends on choices now and in the near term



温室効果ガスのためのGHGプロトコル（サプライチェーン全体での排出量）

温室効果ガス対策には、自社での排出に加え、サプライチェーン全体での排出の削減が必要

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/index.html



Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
Scope3：Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

→サプライチェーンや企業活動のどこかで発生する人権問題、違法行為、環境問題、軍事政権とのつながりなどの非倫理的行動などもGHG排出と同じように企業の責任として問われる可能性がある。

包摂的社会の推進に貢献する取り組みを行う一般社団法人の事例

移動困難者の問題に向き合う「一般社団法人WheeLog」 東京都千代田区

第7回ジャパンSDGsアワード「SDGs推進本部長（内閣総理大臣）賞」受賞

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/award7_01_wheelog.pdf

「車いすでもあきらめない世界をつくる」をミッションに

車いす移動者のためバリアフリー情報を共有する

プラットフォームを開発・運営

移動困難者も住みやすい社会の構築に貢献

10言語対応

...

<https://wheelog.com/hp/>

事例からの学び・気づきとして

包摂的社会実現のためのモデルになる取り組み

移動困難者の社会へのアクセスの手段・活動の可能性を拡大

課題解決の新しい視点（個人個人が抱えこみがちの問題を協働で解決）

プラットフォーム型の開発・運営（情報インフラの拡大）

対象者・賛同者の輪の拡大（成果の共有・拡大）

-
-
-

なぜ、ジェンダー平等／多様性・公平性・包摂性の議論が必要なのか？

◆ 基本的人権

→ 尊厳、選択の自由、など

◆ 公正な社会をつくる

→ 限られた人間の価値観で作られた社会は多様な人間の価値観を反映しない

→ 社会づくりに皆が参加する

◆ 皆の能力を生かす

→ 多様な人材の能力を生かせない社会は発展しない

→ 英知の結集

↓

↓

「誰一人取り残さない (No one will be left behind.)」

日本のジェンダーギャップ指数(2023)

- ◆ 世界経済フォーラムの2023年版ジェンダーギャップレポートによると日本は、146カ国中、**125位**となっている。(1位：アイスランド、2位：ノルウェー、3位：フィンランド、4位：ニュージーランド、5位：スウェーデン、6位：ドイツ、7位：ニカラグア、8位：ナミビア、9位：リトアニア、10位：ベルギー、・・・、12位：、16位：フィリピン・・・)

- ◆ 日本の項目別順位は

経済参加と機会	123位 (0.561)
教育の達成	47位 (0.997)
健康と生存	59位 (0.973)
政治的エンパワメント	138位 (0.057)
全体	125位 (0.647)



日本政府のSDGsサイト (Japan SDGs Action Platform)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

◆ SDGsとは？

今までの経緯、関連文書、活用ガイドなど

◆ 日本政府の取組

「SDGsアクションプラン」

「持続可能な開発目標 (SDGs) に関する自発的国家レビュー (VNR)」

◆ ジャパンSDGsアワード

第1回～第7回まで発表

⇒好事例を学ぶ上で有益、受賞企業・組織のホームページも参考になる

◆ お役立ち情報

各機関による取組情報、参考文書など

ジャパンSDGsアワードの表彰基準

https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/gic/page7_000062.html

<評価項目>

普遍性

包摂性

参画型

統合性

透明性と説明責任

変革性

連帯性と行動変容

(「ジャパンSDGsアワード」実施要領)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100533751.pdf>

◆ SDGsの基礎

◆ SDGs経営を実践している企業の事例

◆ SDGsの自分ごと・自社ごと化への取り組み方・具体策

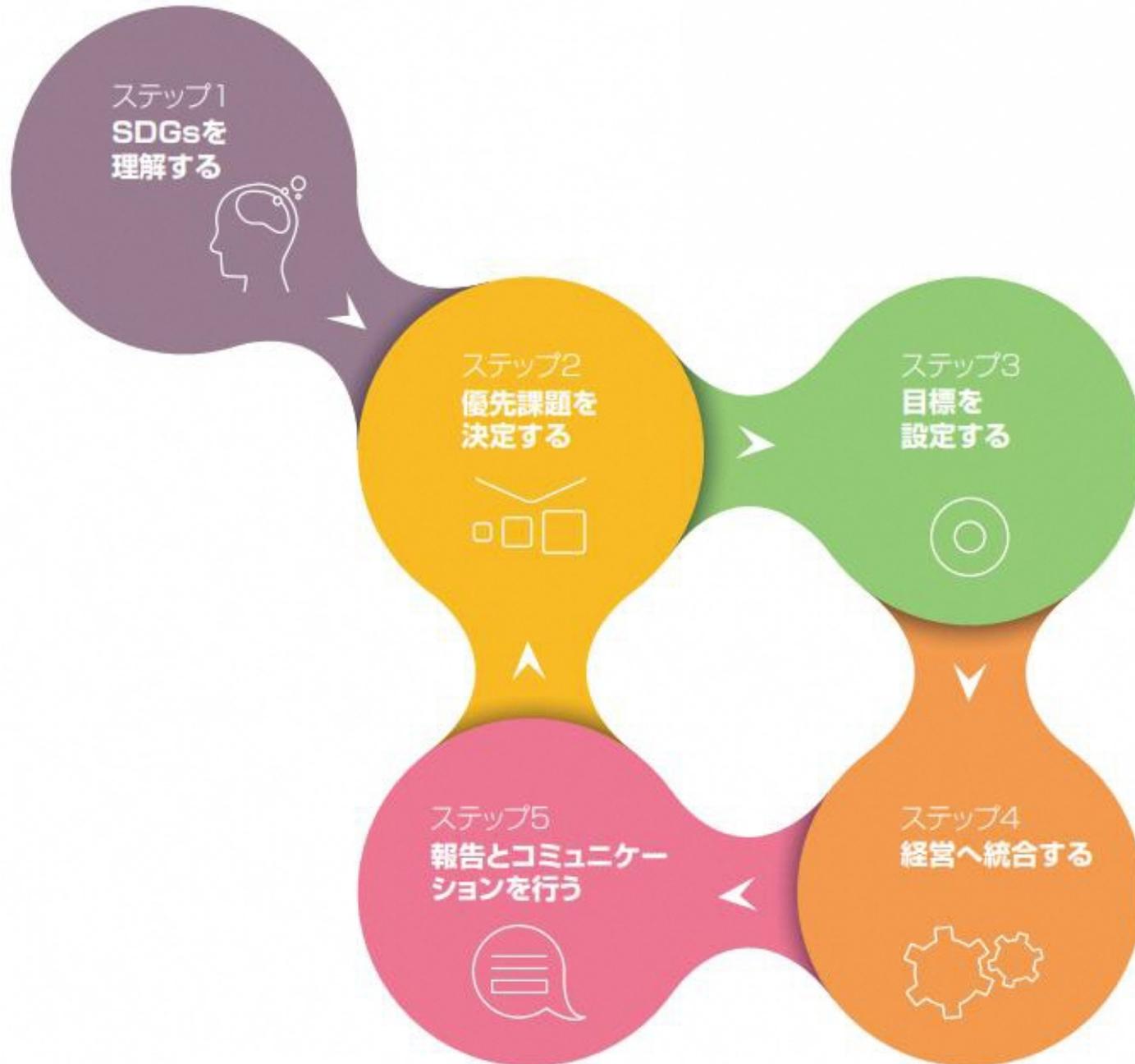
SDG Compass (SDGsの企業行動指針)

https://sdgcompass.org/wp-content/uploads/2016/04/SDG_Compass_Japanese.pdf



出典：「SDGsの企業行動指針」UN Global Compact
(翻訳：The Global Compact Network Japan, IGES)より

SDG Compass



出典：「SDGsの企業行動指針」UN Global Compact
(翻訳：The Global Compact Network Japan, IGES) より

SDG Compassの各ステップの概要



ステップ1 SDGsを 理解する

SDGsとは何か
企業がSDGsを利用する理論的根拠
企業の基本的責任



ステップ2 優先課題を 決定する

バリューチェーンをマッピングし、
影響領域を特定する
指標を選択し、データを収集する
優先課題を決定する



ステップ3 目標を 設定する

目標範囲を設定し、
KPI (主要業績評価指標) を選択する
ベースラインを設定し、目標タイプを選択する
意欲度を設定する
SDGsへのコミットメントを公表する



ステップ4 経営へ統合する

持続可能な目標を企業に定着させる
全ての部門に持続可能性を組み込む
パートナーシップに取り組む



ステップ5 報告とコミュニケー ションを行う

効果的な報告とコミュニケーションを行う
SDGs達成度についてコミュニケーションを行う

目標設定に向けてのアプローチ

実例：目標設定アプローチの採用

インサイド・アウト・アプローチ

目標設定に対し、内部中心的なアプローチを取る今日的なあり方では、世界的な課題に十分対処することができない。



アウトサイド・イン・アプローチ

世界的な視点から、何が必要かについて外部から検討し、それに基づいて目標を設定することにより、企業は現状の達成度と求められる達成度のギャップを埋めていく。

SDGsは、国際的に望ましい到達点に関しての前例のない政治的合意である。



SDGsとロジックモデル

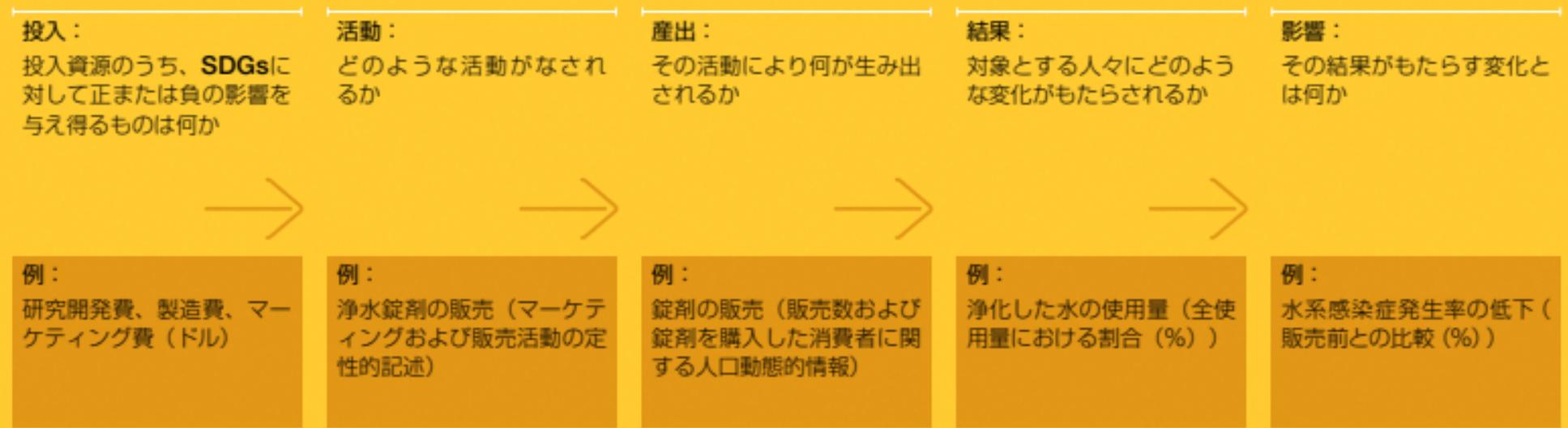
実例：ロジックモデル

ロジックモデルの仕組みは例を使うとわかりやすい。たとえば、浄水用の錠剤の開発に投資しているある企業は、水を通じた感染症の発生率を低下させる可能性があり、SDGsの目標3のターゲット3.3「2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水を通じた感染症及びその他の感染症に対処する」に貢献する。

当然のことながら、ロジックモデルの下流に行けば行くほど、正確なデータの収集は困難になる。したがって、投入、活動ないしは産出を計測し、これを結果および影響の代替指標として利用する企業が多い。

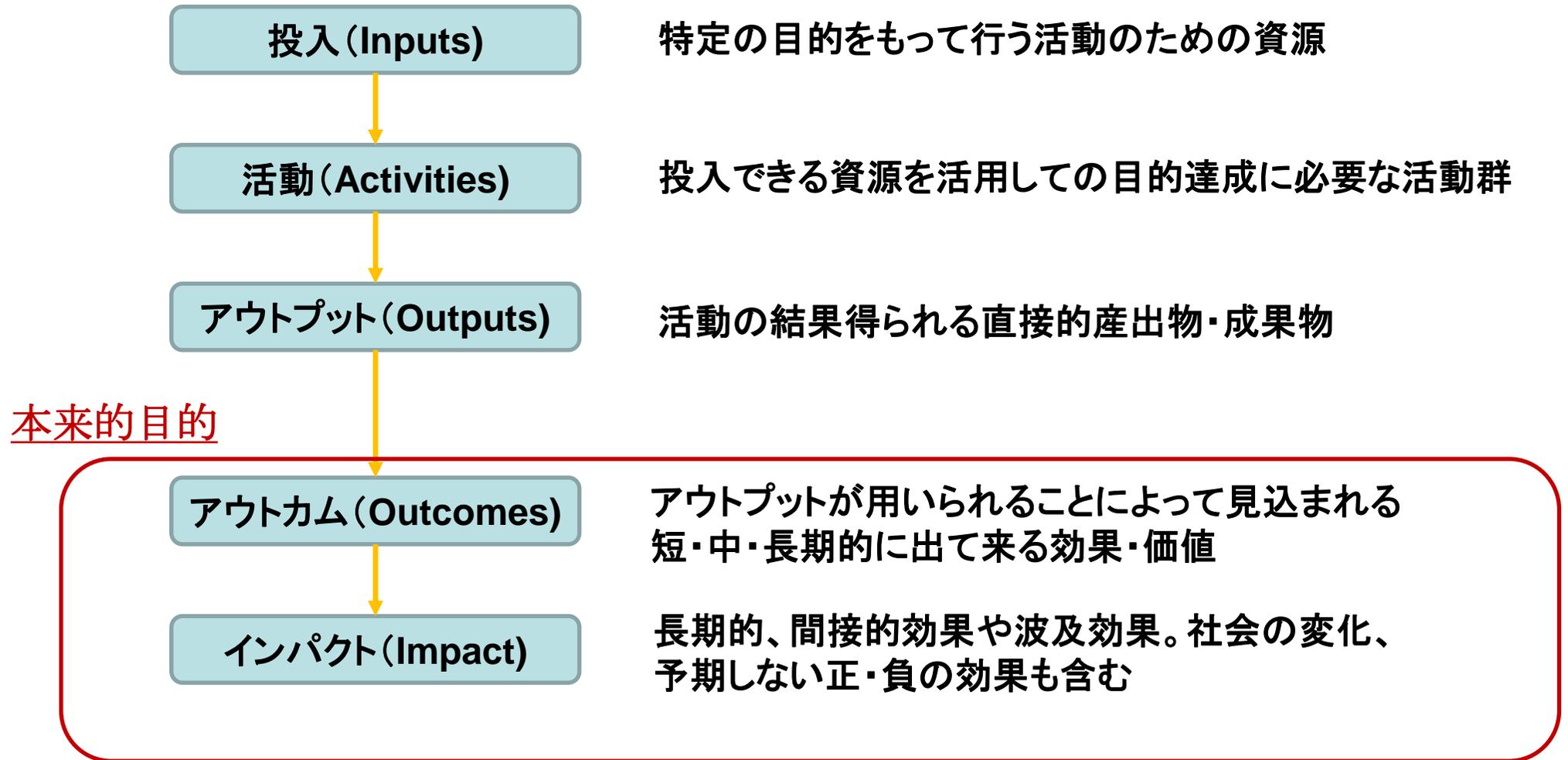
詳しくは、WBCSDの「**Measuring Socio-economic Impact Guide for Business** (社会経済的影響の測定－企業向けガイド)」を参照のこと。

この企業は、以下の段階を経ることにより、SDGのターゲット3.3に対する自社の貢献について理解ができる。



ロジックモデルで考えてみる

「物事を論理的に因果関係を明らかにしながら説明する枠組み」



ロジックモデルで質の高い家づくりの効果を考える

ロジックモデル

質の高い家づくり(ハウスメーカーの例)

投入(Inputs)

技術、資金、人材、情報、協力会社、建機・道具、など

活動(Activities)

営業・契約、調査、設計(耐久性、環境性能、断熱性、再エネ、バリアフリーなど)、材料・設備調達、施工、検査、アフターケア、など

アウトプット(Outputs)

質の高い家の完成

本来的目的

アウトカム(Outcomes)

顧客の生活の質(快適、健康、安全性)の向上、
持続可能な生活(環境、省エネ、創エネ、効率的資源利用、など)の実現
社員の満足、企業価値向上、企業としての信頼・評判の向上、など

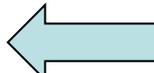
インパクト(Impact)

健康寿命の増進、災害に強く・長寿命の家の増加、
街のレジリエンスの向上、脱炭素社会に向けての進展、
各種SDGsの達成への貢献、などの影響・変化

ロジックモデルのシートに記入

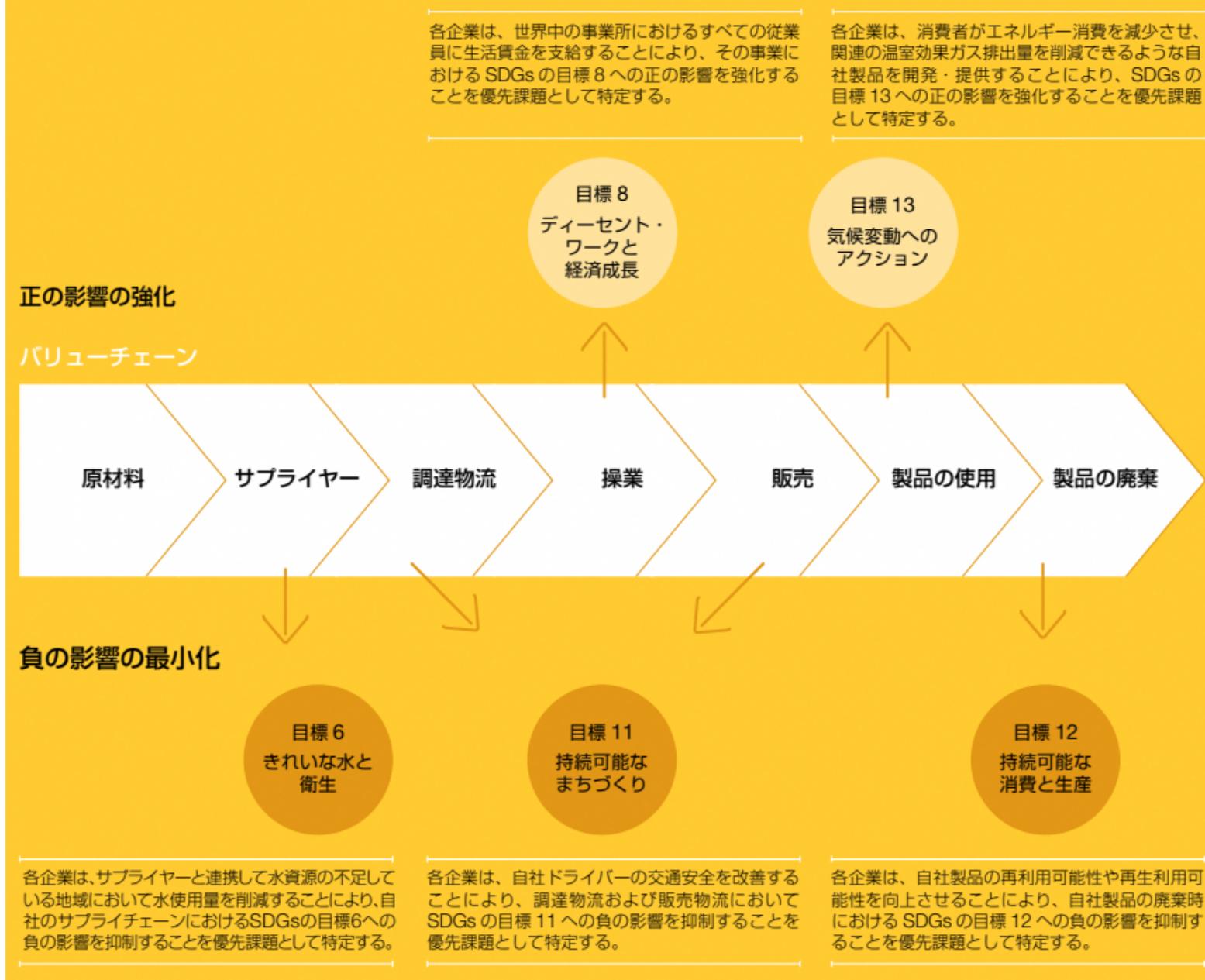
投入 (Inputs)	活動 (Activities)	アウトプット (Outputs)	アウトカム (Outcomes)	インパクト (Impact)
人物 金 情報 技術 協力会社 など	企業として、 社員としてできる 活動	企業・社員の 活動からの 産出物・成果物	アウトプットの 運用・利用など により生まれる と予想される 短中長期的 成果・効果・価値 など	アウトカム により生まれる と予想される 社会の変化・影響 など

シーズ型 

 ニーズ型

バリューチェーンとSDGsマッピング

実例：バリューチェーンにおけるSDGsのマッピング



SDGsにどう向き合うか？

「SDGsのために何をやるか？」

「SDGsにどう取り組むか？」



ではなく、まずは



「今、自社がやっていることがSDGsとどのようにつながっているか？」

「自分自身の現在の生活がSDGsとどのように関係しているのか？」



を考えることから



つまり、自分ごと化、自社ごと化して試みることから始める

SDGsマッピング(自社の仕事とSDGsを紐づけてみる)

“後付けマッピング(現在の活動の棚卸)”をやってみる

- ✓ 現在取り組んでいることがSDGsに関連していないか洗い出してみる
 - ✓ 緩やかでもよいのでつながりを考えてみる
 - ✓ 取り合えず厳密性にはあまりこだわらない



ふせんなどを使って発散的に思いついたことを書きだす
書き出したものを模造紙などに貼り付けながら整理する
(グループ化、重複の整理、因果関係、SDGsとの紐づけ、など)



SDGsのゴールとターゲットを見ながら、
現在の取り組みをどう改善していくかを考えてみる
新たに取り組めることがないかを考えてみる



ロジックモデルのようなフレームワークを使って、
投入→活動→アウトプット→アウトカム→インパクトまでの目標達成までの
具体的なストーリー、シナリオを考えてみるのも有効

SDGsを自分ごと化するために必要なこととは？

SDGsを知ること（各ゴールが“なぜ”あるかを理解する）



現状について少し視野を広げながら知ること、考えること



現在、どのような課題があるかを考えること

✓ 社会全般の課題

✓ 会社の課題

✓ 自分の身の回りの課題

✓ 国際社会の課題

•

•

•



SDGsの各目標との関係とその達成に向けての活動を考える

社内でのSDGsのワークショップ開催のお奨め

- ✓ 個人個人で考えるステップを含める
- ✓ ブレインストーミング（グループ、部署、全社など）
 - ✓ 社内勉強会
 - ✓ SDGsマッピングの作成（ワークショップ形式）
 - ✓ 戦略づくり（ワークショップ形式）
 - ✓ 経営計画への反映
 -
 -
 -

ヤマタホールディングス株式会社「ニュース」

<https://www.yamata.co.jp/news/cat/sdgs>

SDGsワークショップ（SDGsマッピング）

<https://www.yamata.co.jp/news/963>

SDGsバリューチェーンマッピング

<https://www.yamata.co.jp/news/978>

北区×SDGs×渋谷栄一を考える

北区のホームページにはSDGsを考えるための材料が豊富！

<https://www.city.kita.tokyo.jp/>

➤ 北区×SDGs

<https://www.city.kita.tokyo.jp/kikaku/sdgs.html>

公民連携によるパートナーシップ・実践のための人材育成

環境ゼロカーボン社会の実現

リサイクルの更なる推進

多様性社会・多文化共生社会の実現

など

➤ 北区×渋谷栄一

<https://shibusawakitaku.tokyo/>

東京北区渋谷栄一プロジェクト

歴史・文化・地域・ひと

北区の現状を数字で考える (1)

北区の数字(データ)を全国や他地域と比較すると現状を考える上で有益

◆ CO2排出量

2020年度の北区のCO2排出量	105.8万トン (1人当たり約 3.00トン)
2020年度の民生(家庭)部門のCO2排出量	44.2万トン (1人当たり約 1.25トン)
北区の人口(2021年1月1日現在)	353,158人

出典：北区ホームページ

2020年度の全国のCO2排出量	(1人当たり約 8.26トン)
2020年度の全国の民生(家庭)部門のCO2排出量	(1人当たり約 1.85トン)

出典：国立環境研究所ホームページ
(日本の温室効果ガス排出量データ)

◆ 高齢化率

北区人口(2024年4月1日現在)	358,516人 (23区で11位、県庁所在地の市と比べると、 長野市(363,343人)、和歌山市(354,837人)と同規模)
65歳以上人口(2024年1月)	84,773人 (23.70%) →23区で3位 (出典：東京都統計)
全国人口(2024年3月)	1億2,397万人 (出典：e-STAT)
65歳以上人口(2024年3月)	3,623万人 (29.2%) (出典：e-STAT)

北区の現状を数字で考える（2）

◆ 人口転入超過率（％）（2020年度）

北区 0.11％（23区で13位）

◆ 交通事故発生件数（人口10万人あたり）（2005年度）

北区 375.0（23区で23位）

→23区で事故発生件数が最も多いのは、千代田区で4550.2件

→JR駅数11は都内最多、地下鉄・都電を含めほぼ全域が徒歩圏（50%以上が公共交通の駅から500m以内）

◆ 図書館の数（2018年度）

北区 15カ所（23区の3位）

◆ 外国人の数（人口10万人当たり）（2020年度）

北区 5734人（23区で6位）

出典：統計データはe-Stat、
その他情報北区勢要覧

地域社会と会社と人を元気にする取り組み

地域社会のエコシステム

北区に住む人・働く人などが元気になる



北区ของบริษัท・事業者・学校・その他様々な活動組織が元気になる



地域社会（北区）が元気になる



将来世代に元気な社会を引き継げる
(持続可能な社会)

ポイント→多様な主体の参加型で進める

まとめ

- SDGsは人類共通の未来(持続可能な社会実現)への羅針盤
- 企業価値と社会価値を高めるアウトカム・インパクトを意識した経営

企業活動と価値創造の構造

投入 (Inputs)	活動 (Activities)	アウトプット (Outputs)	アウトカム (Outcomes)	インパクト (Impact)
各社の資源 蓄積された資本 例) 人、物、金、技術、 情報、ネットワーク、etc.	目的に応じ様々	製品・産出物の 価値 サービスの価値	顧客の価値 満足、 個人課題解決 企業の価値 信頼、評判 成長・安定 社員の満足 社会の価値 社会課題解決 QOL、豊かさ	社会の変化 繁栄・成長 平和・安定 包摂・安心 持続可能性 etc. ↓ ↓ (結果として) SDGsの達成

ご静聴ありがとうございました

ご質問がある場合は

nakamura.akira@kanda.nit.ac.jp

日本工業大学専門職大学院技術経営研究科 教授

中村 明